

## 【平成 31 年度の主要事業について】

まちづくりの最上位計画である「第 5 期奥多摩町長期総合計画」の施策の大綱に沿って、平成 31 年度予算で特に重点としている施策や新規事業について説明します。

### 第 5 期長期総合計画 第 1 章「みんなで支えるホットなまちづくり」

#### ○誰もが元気で健康に暮らせる地域づくり

町民皆さんが健康に生活できるように、各種の検診事業、保健推進活動事業、定期予防接種事業、食育推進事業、健康相談事業などの疾病予防につながる事業を実施するほか、地域医療体制及び医療保険制度の適切な事業運営が図られるよう、着実に進めてまいります。

#### ○安心して子どもを産み育てる地域づくり

過疎化による少子高齢化が進む当町においては、次世代を担う子どもを安心して育てる環境づくりのため、出会いから結婚、出産、子育て・子育てまできめ細やかな支援を行ってまいります。

特に、重点施策の一つとしている少子化・定住化対策は、15 項目に及ぶ子ども・子育て支援推進事業の制度を今後も推進するほか、住宅の新築や改築に対して支援する若者定住応援の助成を推進するなどし、町内在住の家庭はもちろんのこと、移住者への支援も合わせて行うことにより、子どもや子育て世代の増加を図り、自治会等の地域コミュニティの維持、活力の向上に努めてまいります。

また、31 年度は、児童数の増加や公定価格の改定等により保育所措置費等を増額し計上させていただきました。

#### ○高齢者が生きがいを持って暮らせる地域づくり

多くの高齢者は住み慣れた地域で安心して暮らしてい

くことを望んでいますことから、保健師等の町職員、地域包括支援センター職員、高齢者見守り相談員、社会福祉協議会、民生・児童委員等が連携を行いながら、在宅高齢者への福祉サービスを引き続き推進してまいります。

また、介護老人福祉施設などの施設介護サービスにつきましては、町民が将来に亘り経済的負担を少なく施設へ入所できることに配慮し、新たに施設整備に対する補助事業費を計上させていただきました。

#### ○障害者が自立して生活できる地域づくり

障害者が安心して地域の中で自立した生活を送ることができるよう、医療・福祉などとの連携や継続的な支援相談体制が重要となります。

特に、障害者地域活動支援センターの充実が必要なため、JR 鳩ノ巣駅前に新たに建設を行い、障害のある人が必要なサービスを受けられるよう、また、社会参加が図られるよう、引き続き推進してまいります。

#### ○心のぬくもりと絆を持ち続けられる地域づくり

当町では、自治会や隣組などの地域での支え合いや助け合いによる地域コミュニティの力は非常に強いものの、少子高齢化等の影響により、これまで通りの地域での支え合いが困難となることも想定されます。

引き続き地域の中で支えあいながら安心して暮らすことができるよう、地域の活性化を推進してまいります。

### 第 2 章「やさしさ ふれあい 人と自然」

#### ○自然とともに歩むまちづくり

当町は、豊かな水と緑に恵まれ、町内全域が秩父多摩甲斐国立公園に含まれていることから、そのような環境を大切に保全していくために、環境に配慮した循環型社会の形成に努めるとともに、生活基盤として重要な役割を持つ道路の整備や公共下水道のさらなる接続の促進、簡易給水施設の安定的な維持管理を行います。

また、ごみ処理につきましては、ステーション方式の収集を行い効率的なごみ処理に、住民皆様にご協力いただいておりますが、高齢者世帯などの排出困難者に対しましては、新たに戸別に玄関先まで収集することとし、きめ細かく対応することといたします。

<つぎのページ左上に続く>

